



初夏の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
皆さまへは市政の状況と活動状況をわかりやすくお伝えしたいと思っておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

## 1. 3月・6月定例議会で質問しています！

定例議会の一般質問は、次の4件について行いました。以下に質問の要点を示します。詳細は YouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1) (2) 3月、(3) (4) 6月議会で質問しました。

### (1) デジタル化推進事業の成果について

市長はデジタルファースト宣言をしていますが、実際に何をして、**成果がでてきているのかが見えてきません**。今回、どこにデジタルが取り入れられ、どの位の成果が実際に出ているのかを問いました。

**【質問1】** デジタル化推進事業が始まって2年が経過した。これまで**約9千万円の投資**をしているが、どこに、どの位の効果が出ているのか。

**【市答弁】** 行政手続きのデジタル化は、オンラインでの電子申請と支払いのキャッシュレス決済を導入。しかし、電子申請する市民の割合が少なく、また未対応の手続きがまだ多く残っているため、**効果は出ていない**。

デジタル活用による業務改革では、年間1万時間の職員の業務量削減。さらに、AIや

自動文字読み取り機能等により、年間9,700時間の業務量削減効果が見込める。

**【質問2】** デジタル化で浮いた職員の時間は、どこに反映又は活用されているのか。

**【市答弁】** まだ業務改革の取組自体に費やす時間が多く、**成果を活用するまでに至っていない**。

\* 民間では投資対効果がないものは実施しません。**高額の投資をしているため、検証をきちっと行い、市民にも示すように求めました**。

### (2) ヴィクトワール広島を本市ブランドにする取組を

本市は、自転車プロロードレースチームと昨年3月に連携協定を結んでいます。また、中央森林公園が「自転車ロードレースの聖地」と言われているようで、これらをうまく活用し、**本市のブランドにするつもりはないのか**を問いました。(写真:ヴィクトワール広島 HP より)



また、中央森林公園が「自転車ロードレースの聖地」と言われているようで、これらをうまく活用し、**本市のブランドにするつもりはないのか**を問いました。(写真:ヴィクトワール広島 HP より)

**【質問1】** 今後どう活用していく計画なのか。

**【市答弁】** 7月に佐木島でプロロードレースツアー開催が決定。3年間は継続予定で、島や本

市をPRする。また、市民団体とのサイクリングイベントの計画もあり、サイクリングのまち三原として盛り上げて行く。

【質問2】サイクリングのまちでは、隣に尾道市がありインパクトが弱い。「市民が支援するヴィクトワール広島のまち三原」構想を打ち出し、本市のブランド構築と市民応援の風土作りを進めるべきではないか。

【市答弁】プロチームが本市に関わることを優位性と捉え、本市のイメージ作りに取り組んで行く。

\*「何もかもが平均的」「他に誇れるものがない」と感じる市民が多いことから、本市の魅力作りに活用できるのではと提案しました。

### （3）市内での起業風土作りを

人口減少にともない、市内の事業者数と雇用者数が減少し、若い世代の転出が続いています。尾道と比べ、本市は企業城下町と言われて久しく自分たちで事業を起こす風土に欠けています。この体質を変える取組をしなければ本市は変わらないと考え質問をしました。

【質問1】市内外から地域課題を解決するビジネスプランを募集してコンテストを開催し、多様な人材が集まる「起業しやすいまち三原」へ変革していく必要があるのではないか。

【市答弁】現在、スタートアップシティカレッジで、起業に必要な基礎知識の習得や、実践的な講座による事業構想の実現化の取組をしている。しかし、参加者が定員10名に達しないなど課題はあり、市内での起業風土づくりは今以上に必要である。シティカレッジの周知方法の見直しや、若年層の起業マインド醸成に取り組んでいく。

\*企業誘致だけに頼らず、自ら事業を起こし地域経済と雇用を創出する取組が求められています。特に本市には必要で、空き家や空き店舗の活用に市内外から若者を集め、活用プランを募る取組を行政はやるべきです。

### （4）小・中・高生への起業家教育を

政府は地域の課題解決や雇用創出を担った起業家を育てるため、早くから挑戦心を養い、他者と協働しながら新たな価値を創造する力を小学生の段階から育成すべきとしています。

本市の起業家教育導入についての考えを問いましたが、その中で「こどもしごとチャレンジ」事業についての質問を記載します。

【質問1】2千万円をかける「こどもおしごとチャレンジ」事業の目指す目的は何か。

【市答弁】仕事・職業に関する「学び」や「体験」の場を提供し、仕事への興味・関心の拡大と、将来について考えるきっかけづくりをし、次世代の人材育成を図ることが目的である。仕事体験講座やイベント、映像コーナー設置など、サンシープラザで行う。

【質問2】室内での講座やイベントではなく、市内にどんな仕事があるのか現地に行って肌で感じる学習が必要ではないのか。また、政府が目指す起業家教育とズレを感じる。この高額投資は本当に有益なものになると考えているのか。

【市答弁】子どもたちがさまざまな仕事や職業について考え、体験する機会の提供は、子どもたちの夢と可能性を上げるとともに、本市の将来の発展につながると考えている。

\*なぜ三原の様な小さな自治体で、2千万円をかけて施設を作るのか良く理解できません。市内の企業にボランティア講師を依頼するなど、やり方を工夫すればもっと安価な予算で同じ成果が出せると思います！

## 2. 議会トピックス

### ◆ 令和5年度予算について

一般会計予算は、昨年より6億円増の490億円で、「子ども・子育て支援」「教育・人づくり」「多様な人々の参画・活躍を後押し」に力点を置き、助成や支援窓口の充実が中心となっており、その他は従来事業の維持や各種計

画作成費用に充てる予算編成と言えます。

子どもと子育てを前面に打ち出していますが、国や県の指針を基にしたものが多く、**本市固有の施策が少ない**ことが気になります。自治体間競争が激しくなっている昨今、**本市の特色をもっと作り出すことが重要**ですが残念です。

#### ◆ **こどもおしごとチャレンジに2,000万円**

今年度予算の「教育・人づくり」の中に、**仕事体験提供「こどもおしごとチャレンジ」の2,000万円**が盛り込まれています。

3月の予算審議で内容の詳細説明を求めたところ、小学生15名の1時間講座を32回開催する計画で、**施設の整備に600万円と1回の講座開催に44万円**をかけるのは高額すぎることを指摘しました。納得がいかないため、議長に直訴し予算審議最終日に特例で追加質問時間を頂きましたが、結果、詳細が決まった時点で再度議会へ説明し審議することを前提に予算承認をしました。

⇒6月21日の厚生文教委員会で、事業の詳細説明があり、これまで指摘した点について改善した計画が示され、一応承認しました。しかし、**1年間実施後の成果をきちっと評価し、継続すべき事業かどうかを判断するように指示**しました。



#### ◆ **三原看護師養成事業団の解散について**

市内で就労する看護師の確保を図るため、三原市と市医師会が出資し、平成3年に三原看護師養成事業団を設立し、平成5年4月に三原看護専門学校を開校しましたが、入学者数の減少により、赤字運営が継続していたため、**令和5年3月末をもって看護学校が閉校し、事業団が解散**しました。

今後は**興生総合病院へ売却**が計画されており、医療従事者の研修・実習場所や災害時物資の備蓄倉庫として活用される予定です。

#### ◆ **サギセミナーセンター閉鎖提案**

4月20日の厚生文教委員会で、**センターの閉鎖提案が示されました**。本センターは佐木島唯一の大型宿泊・研修施設で、青年の家として使われていますが、老朽化と利用者が少なく、経常的な赤字経営が続いているためとしています。

これまで、再三にわたり、青年の家条例を廃止し、観光や地域振興等でも活用できるようにしてほしい、宿泊単価やサービスの見直しをしてほしいと要望して来ましたが、関係する各課は関わりたくないとの意向で、**市として改善の努力をまったくしないまま一方的に閉鎖が提案**されました。

市は、佐木島でイベントを高額の予算をかけて企画しますが、**島でのインフラ整備などはまったく考えておらず、島をどうしたいのかが見えません**。イベントだけの島は、島民の生活を阻害するため、歓迎できません！



#### ◆ **福山本郷道路（三原～本郷間）について**

福山本郷道路は、**尾道市～本郷 IC に計画されている延長約30kmの高規格道路**です。これまで尾道バイパス、木原道路、三原バイパスが開通していますが、残る新倉町ランプ～本業 IC 間は、ルートも決定していません。

令和5年2月に、国・県・市で構成する「三原市域の道路整備に関する勉強会」が設置され、**道路整備の必要性やルート決定に向けた調査検討に着手する準備**ができました。

#### ◆ **三原内港再生実施計画**

6月23日の経済建設委員会で、計画の進捗報告がありましたが、残念ながら**具体的な案はこれから**で、令和6・7年度に基本・実施設計、**令和8・9年度に工事**となる計画です。

実施計画は、主に①港湾機能の配置、②にぎわいづくり、③景観形成の3つの取組内容から構成され、県と市、地域住民や民間事業者の関わりや参画のもとで、取組を進めていくとのことです。



## 5. あとがき

「行政の公平性とは何か」令和5年3月10日の中国新聞オピニオン欄に、川崎三原支局長の記事が掲載されました。本市の佐木島航路の運賃助成約230万円が、公平性が無いからという理由で、令和6年度より打ち切られます。一方で、1日だけの佐木島ロードレースに開催援助として500万円が使われます。島民にとってどちらが有難いと感じるでしょうか。トップはこの感覚で、公平性を言う資格があるのか疑問なところです。

## 3. 経済建設委員会の活動

◇今年度から2年間、再び経済建設委員会委員長に任命され、委員会の運営を任せられました。委員会の主な仕事は次になります。

- (1)付託議案の審議
- (2)委員会政策提案へ向けての調査・研究
- (3)市民との意見交換会の開催
- (4)三原高校生との意見交換会の開催

## 4. 活動報告&お知らせ

### (1) 田野浦治山堰堤の水路整備依頼

第三田野浦団地の谷合にある治山堰堤から、豪雨時に民地を通して道路に土砂が流れ込むことから水路の整備を依頼しました。次年度の予算に組み込んでもらいます。



### (2) 駒ヶ原の用水路整備完了

平成30年の豪雨災害時に崩れた用水路の整備が中途半端な状態で放置されており、最近の豪雨により下流が崩れ始めていたため、早期の整備を繰り返し依頼していましたが、3月に整備が完了しました。

みなさんのご意見をお聞かせください！

- ・ 市政について
- ・ 普段の生活の中で気付いたことや問題点など
- ・ 将来のためにこうすべきだ 等々

お気軽にご連絡ください！

<連絡先> 〒723-0017  
三原市港町三丁目16番13号

携帯電話：090-7137-0440

FAX：0848-64-8911

E-mail：[h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp](mailto:h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp)

<https://www.tanakahiroki.info/>



<田中裕規 プロフィール>

- ・ 東京農工大学工学部大学院卒
- ・ 元帝人(株)社員
- ・ 三原市防犯連合会会長
- ・ 保護司



田中ひろき後援会だより発行責任者：武郷康則